

令和5(2023)年度 経営再建計画

年度目標

○収入の確保（賃料収入）	9億57百万円
○地下街の活性化（入居率）	97%
○支出の削減（一般管理費）	67百万円
○収益の確保（税引前当期純利益）	1億88百万円

事業方針

今年度は、徐々に市況が回復すると想定するが、個人消費の回復について大きくは期待し難く、また減退しているテナントの出店意欲も短期間で高まる可能性は低いと考えられる。このような環境下、コロナ禍の影響による賃料減額中のテナントを中心に従前の賃料水準回復に努める等地下街収入の増加に努め、支出においては安全で快適な地下街運営を図ることを前提に売上原価、一般管理費ともに必要不可欠な支出に止める。

重点施策

地下街運営事業者及び施設管理事業者との連携強化を前提として、下記の重点施策に取り組む。また、地下街の運営管理と密接に関連する道路管理者などとも十分協議し取り組む。

- 地下街収入の確保
 - ・地下街MDに即した顧客ターゲットの定着
 - ・空き区画の解消
- 地下街施設の適正な維持管理
 - ・中長期修繕計画に基づく電気・機械設備の更新
 - ・土木・建築施設に係る中長期修繕計画の策定
- 効率的な業務遂行
 - ・限られた人員による運営に支障のない業務効率化
 - ・光熱水費などの経費削減及び増収策の検討・実施

収支

地下街収入については、地下街運営事業者との連携のもとで、コロナ影響による賃料の減額対応の打ち切りや正規契約での入店などを進め、前年度を超える目標とする。

収支計画としては、2023年度の売上高は13億5百万円、地下街収入12億60百万円、うち賃料収入は9億57百万円とし、税引前当期純利益については1億88百万円を目標とする。

地下街事業

テナント売上は回復基調にあるもののコロナ禍以前の水準とは乖離があり、引き続き、テナント、地下街運営事業者及び当社の3者が連携してクリスタ長堀のブランドイメージ向上とテナント売上増加に向けて取り組んでいく。

（販売促進の基本方針）

施設ファンづくりを継続・活性化するとともに、コロナで変化した消費行動様式に対応すべく、来館の動機づけとなる施設や店舗の「コト」作りと発信に注力し積極的な集客を図る。